

書面による地域からの要望

仮称駅名	要望駅名	要望理由の概要	要望者
青葉山	「東北大学」の名称を用いた駅名 (例：東北大学青葉山キャンパス)	- 学生・教職員等のほか、学会や各種試験、催事、研究等のため、市外のみならず海外からも地下鉄を利用して東北大学青葉山キャンパス及び川内キャンパスを訪れる方も多いと思われる。 - 利用者の利便性に配慮し、地域名だけではなく大きな目標物を加えた駅名とすることによって、案内として分かりやすく、市民にも受け入れられると考える。 - 大学の名称を用いることで、「学都」ならではの駅として仙台のイメージアップにもつながり、地下鉄の利用促進につながると考える。	国立大学法人東北大学
川内	「東北大学」の名称を用いた駅名 (例：東北大学川内キャンパス)		
西公園	大町・西公園 または 大町通り・西公園	「大町通り」は仙台開府直後に藩の財政を支える商人町のさきがけとして造られた由緒ある通りである。駅東側出入口が造られるのは大町通りの出発点である旧「大町一丁目」である。 - 西公園は南北に長く「西公園」のみの駅名であると、位置的にどの付近を指すのか特定が難しいが、「大町通り」を加えることで比較的特定し易くなる。 - 現在のバス停留所名は「大町西公園前」(旧市電の停留所も同じ)であり、整合性がとれる。	仙台市大町会
新寺	宮城野通	- 若林区内にあれば、「新寺駅」との名称が理解できるが、当駅は宮城野区内にでき、区内唯一の駅であるため、宮城野の名称にすべきである。 - 今後の仙台駅東口の発展を考えた場合、「新寺駅」は相応しくない。 - 宮城野地区は、歌枕として詠まれた「宮城野」など、1200年余りの歴史がある。 - 仙石線にも「あおば通」駅があるため、分かり易いと考ええる。 - 仙台市内、特に仙台駅東側を代表する道路であり、更なる地域発展のためブランド化したい。 - 平成17年10月1日に宮城野通地区は「景観形成地区」及び「広告物モデル地区」に指定され、新しい仙台市のシンボルとなる街作りを目指した景観形成を図っている。	9団体連名 (榴岡地区町内会連合会、榴ヶ岡町内会、東九番丁親交会、東八番丁町内会、東七番丁東口振興会、パルシティ仙台町内会、東七番丁中央親睦会、東七北振会、仙台駅東口商工事業協同組合)

仮称駅名	要望駅名	要望理由の概要	要望者
卸町	やまと・卸町	・ 付近は弥生時代以来の南小泉の大集落跡や遠見塚、法領塚の遺跡が数多く存在しており、さらに、奈良東大寺と同規模の遺構を誇った陸奥国分寺や国分尼寺などがあり、この周辺が仙台地方では当時最も繁栄したことを示していると言われる歴史ある地域である。 ・ 東西線沿線の街づくりは、駅を中心に新たな地域活性化を図ることであり、駅名は重要である。	10 団体連名 (大和地区連合町内会、尼坪親和会、大和町五丁目町内会、大和町町内会、柳橋町内会、尼寺東町内会、中倉共栄会、大和中倉町内会、ダイアパレス大和通り町内会、大和ステイツ町内会)
	おろしまち	・ 仙台卸商センターでは、地下鉄東西線の開業に向け、多様な活動が展開され、新たな交流、賑わいが生まれるような街づくりに取り組んでいる。掲げているまちづくり目標を実現するために、駅名については、地域への影響や効果を勘案し、親しみ易く分かり易いひらがな表記が望ましいと考える。	協同組合仙台卸商センター (4,295 名の署名付)